

地域未利用資源である放置竹林を活用した竹あかりによる地域振興について

～香川大学たどつまちLaboを事例として～

○入口莉帆*・松本奈珠*・藤谷円花*・赤川颯*・古川尚幸**
(香川大学経済学部生*・香川大学経済学部教授**)



1.香川大学たどつまちLabo

香川大学たどつまちLaboでは、香川県多度津町をフィールドに様々な活動を行っている。その活動の一つに、「竹あかり」を活用したイベントがある。このようなイベントを通して、多度津町に賑わいが創出されることや、地域住民同士、地域住民と大学生のコミュニケーションの機会を創出している。

2.竹あかりイベント

【竹あかりイベントの目的】

放置竹林問題の改善×地域の未利用資源の活用(桜川・歴史的建造物群)の活用＝**地域振興**

【4つの活動】＝①竹伐採 ②ワークショップ ③2つの展示イベント ④竹炭づくり



①「竹伐採」
地域住民の方の協力の下、町内の放置竹林から伐採



②「ワークショップ」
2023年度は多度津町内外で計17回実施



③-1「第4土曜は本町デー」
2023年5月から毎月展示
今年度は平均1180人が来場



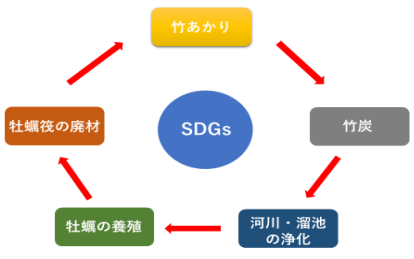
③-2「桜川沿いでイベント」
「竹あかり～たどつ灯～」
2023年3月(2日間)で約350名来場



④竹炭づくり
香川森林センターのご協力のもと、竹明かり約100本を竹炭に変換

「第4土曜は！本町デー」とは
文化庁の重要伝統的建造物群保存地区に、「多度津町本通」が選定されることを目的としたイベント

3.今後の活動の展望



- ①竹あかりで資源の循環を目指す
作成した竹炭で水質浄化実験を行い、桜川などの水質浄化を目指す。
- ②歴史的建築物の魅力を伝える
重伝建制度を後押しするため、「第4土曜は！本町デー」にて来場者により効果的に建物の魅力を伝える工夫を行う。
- ③まちあるきツアーの実施
作成済みのまち歩きリーフレットをもとに、ツアーを実施する準備を行う。

ご質問・お問い合わせ

学生代表 香川大学経済学部 入口莉帆 tadotsulabo@gmail.com
 担当教員 香川大学経済学部教授 古川尚幸 furukawa.naoyuki@kagawa-u.ac.jp